

1行目にタイトルを
入力してください

小児糖尿病キャンプを通して

3行目に氏名を
入力してください5行目から本文を
入力してください

私は四年ぶりに青森県の小児糖尿病キャンプ
に参加しました。参加したのは今回で二回
目です。一番最初に参加したときは小学五年
生で右も左もわからなまま、たくさんの方
の先輩方やOB・OGの方々、医師の方々、看護
師の方々に支えてもらいながらキャンプを楽
しむことができました。

今回は新型コロナウイルスの影響を受けて
約四年ぶりの開催となりました。正直私は参
加をするのが少し怖かったです。なぜなら約
四年の空白の時間があるからです。ですが
同じ病気の方々と関わることは滅多にないの
で、怖くても行ってみようと思いました。

私は学校の夏季講習があるため、二日目
から参加しました。不安でしたが、担当の看護
師の方やスタッフの皆さんが暖かく迎えて

くれたので、不安は少しなくなりました。荷物を置き、同じキャンパーの方々に自己紹介をしました。未就学児から高校生と様々な年齢の方がいて、なんだか少し安心しました。

自己紹介の後、岩田穂さんのお話を聞きました。岩田さんの話は、すごくか、こよくて私達より長く生きているからこそ伝えられることを伝えてくれました。岩田さんがフットボール選手にた、たように、私も薬剤師になるために日々努力をしていこうと改めて思いました。

その後岩田さんと写真を撮りました。岩田さんとの写真はお守りにしようと思いました。

岩田さんと交流した後、フールで遊び、スイカ割りもし、夕食を食べた後、私が一番楽しみにしていた花火の時間になりました。

私は運が良、のが悪いのがわかりませんが線香花火が非常によく燃え、自分の手元まで火がきてすごく驚きました。

2023 年小児糖尿病キャンプ 作文コンクール 原稿用紙

どの花火もすごくきれいで、また来年もやりたいなと思いました。

たくさんのお思い出をつくることができ、本当に良かったです。まだ三日目のバーベキューが終わってませんか、とても充実した良いい二日間でした。来年は高校生で参加するときには三日間過ごしたいです。